

TOTO

壁付サーモスタット混合水栓（機能部）／切替バルブ

TBV02105型
TBV02405型
TBV02406型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)


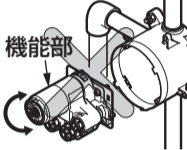



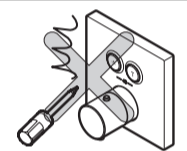
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。





●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。


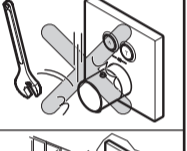

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
 禁止	機能部の上下を逆にして組み付けない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。 
 禁止	給湯温度は85℃より高温で使わない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。  85℃以下
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 

警告	
 必ず実行	<p>フィルターの掃除をする際は、必ず配管部の元栓を確実に閉めてから行う また、湯側フィルター部が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 </p> <p>目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う 使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。 </p> <p>機能部を固定するねじは確実に締め付ける 埋込部と機能部にすき間が開くと、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 確実に締める (4力所) </p>

注意	
 禁止	<p>強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 </p> <p>凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 </p>

2 仕様

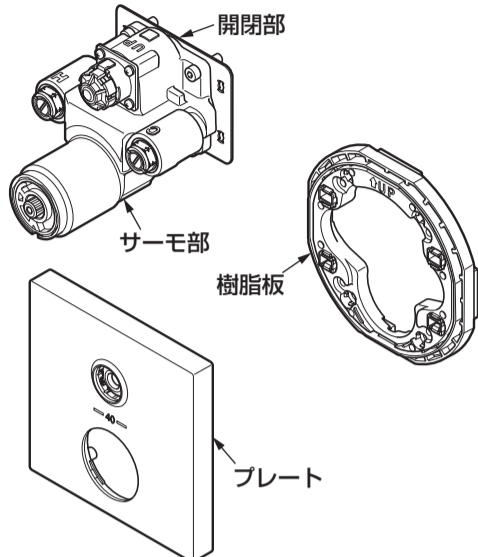
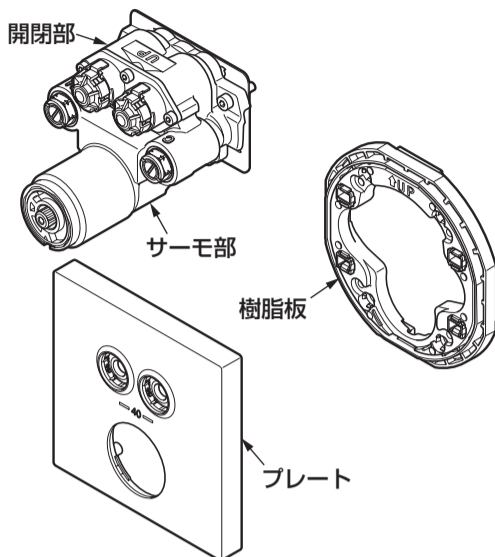
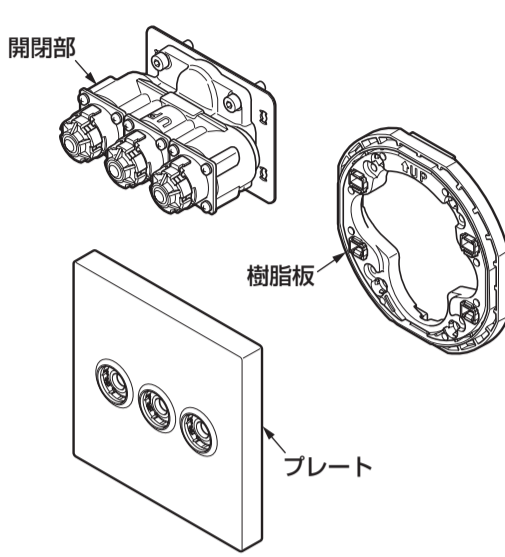
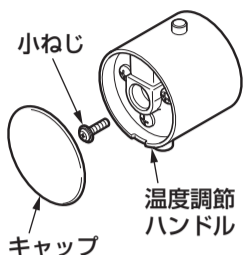
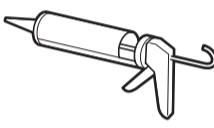











給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.07MPa (流動時) (エアインクリックタイプ、3モードタイプの場合は0.1MPa) (オーバーヘッドタイプの場合は0.15MPa)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度	85℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1～40℃	
用途	パブリックおよび一般住宅浴室用	

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を越えない設定をしてください。
快適な吐水温度を確保するために50～60℃設定をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

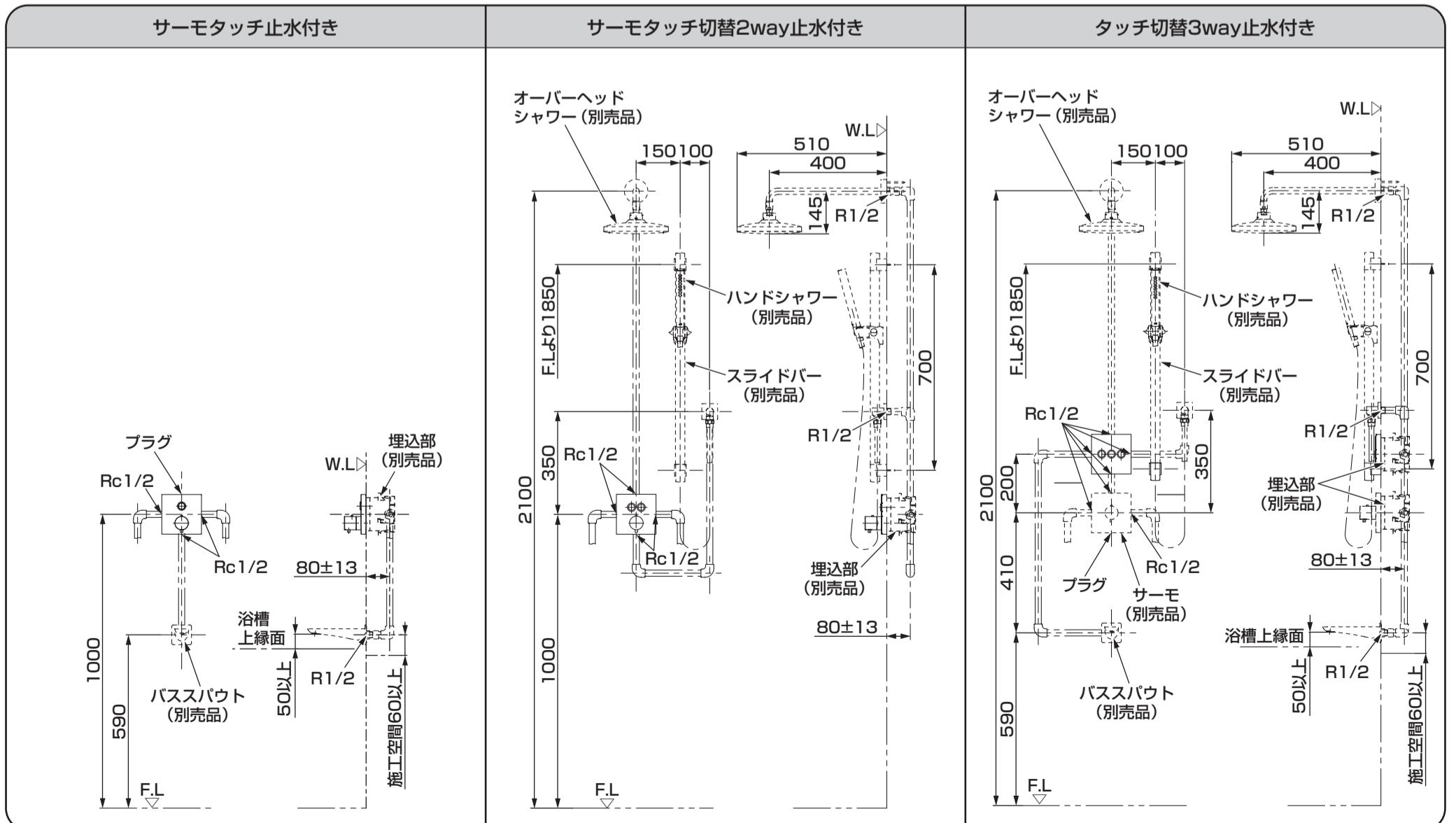
機能部			ハンドル部
TBV02405型  <p>開閉部 サーモ部 樹脂板 プレート</p>	TBV02406型  <p>開閉部 サーモ部 樹脂板 プレート</p>	TBV02105型  <p>開閉部 樹脂板 プレート</p>	 <p>小ねじ キャップ 温度調節ハンドル</p>
必要部材	ボタン部		その他
 <p>シリコーン</p>	TBV02405型 	TBV02406型  <p>バスパウト</p>  <p>ボディシャワー</p>  <p>ハンドシャワー</p>  <p>オーバーヘッドシャワー</p>	TBV02405型  <p>調整ねじ 2本 (予備1本)</p> <p>施工調整板 施工説明書</p> <p>ねじ (4本)</p> TBV02406型  <p>調整ねじ 4本 (予備2本)</p> TBV02105型  <p>調整ねじ 6本 (予備3本)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>取扱説明書</p>  <p>使いかたラベル</p>  <p>六角棒レンチ (対辺4mm)</p> </div>

※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

(単位：mm)



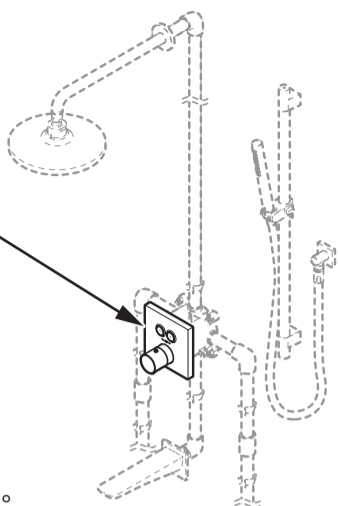
※現場にあわせて寸法調整してください。

次項へつづく

6-1 施工手順

- 1 機能部の取り付け
- 2 ボタン部の取り付け
- 3 樹脂板の取り付け
- 4 プレートの取り付け
- 5 ハンドルの取り付け

※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。



1 機能部の取り付け

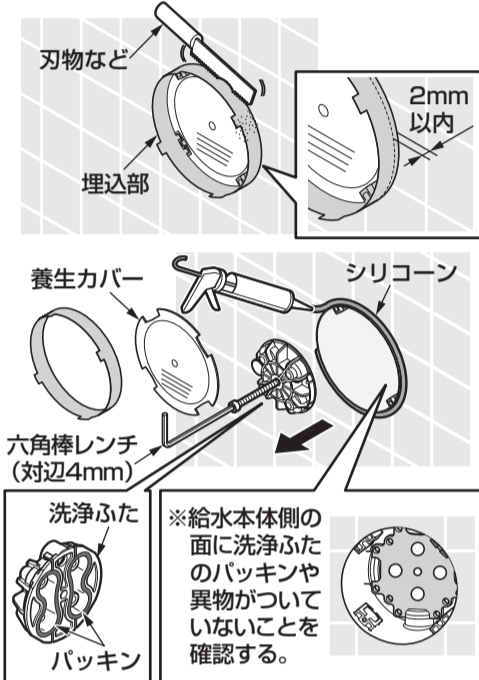
機能部は、給水・給湯管内の清掃を行ったあと、取り付け。元栓を確実に閉めて作業する。
水栓本体樹脂カバーを壁仕上げ面からの出代2mm以内で切断する。仕上げ面より凹にならないこと。

注意

- 樹脂カバー切断は、刃物（パイプソーなど）で行ってください。折る・曲げるをした場合、樹脂カバーが破損する恐れがあります。
- 樹脂カバー切断時、仕上げ面に傷をつけないよう、養生をしてください。

埋込部周囲の壁とのすき間に、シリコーンを塗布し防水処理を行う。
養生カバーを外す。
洗浄ふたを外す。

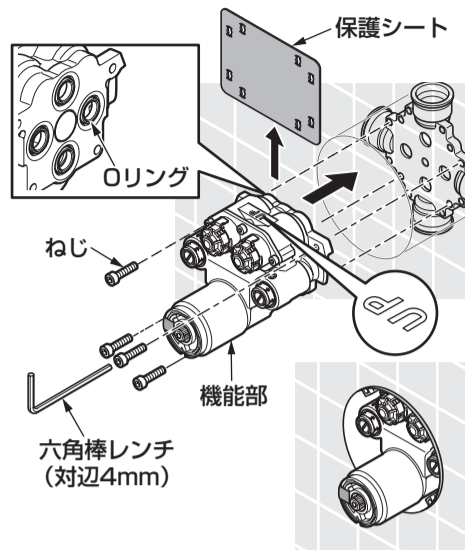
※給水本体に洗浄ふたのパッキンや異物がついていないことを確認する。



- ①機能部の保護シートを外す。
- ②Oリングが外れていないことを確認する。
- ③機能部を"UP"が上になるように取り付ける。

注意

- 保護シートは、ねじを緩めて外してください。
- 保護シートは、機能部取り付け直前まで外さないでください。
- 機能部取り付けのねじ締め込みは、付属の六角棒レンチ(対辺4mm)を使用して強く締めてください。
- 機能部は上下逆につけないでください。

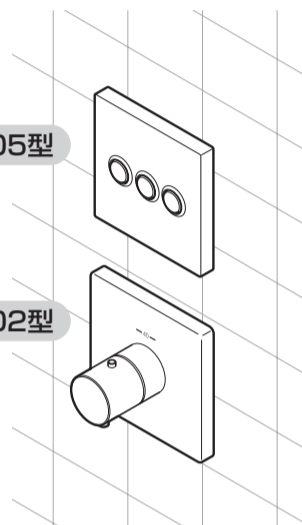


注意

TBV02105型は、TBV02402型(サーモ)の上側に付けてください。下側に取り付けると開閉ボタンの吐水・止水操作に影響がでます。

TBV02105型

TBV02402型



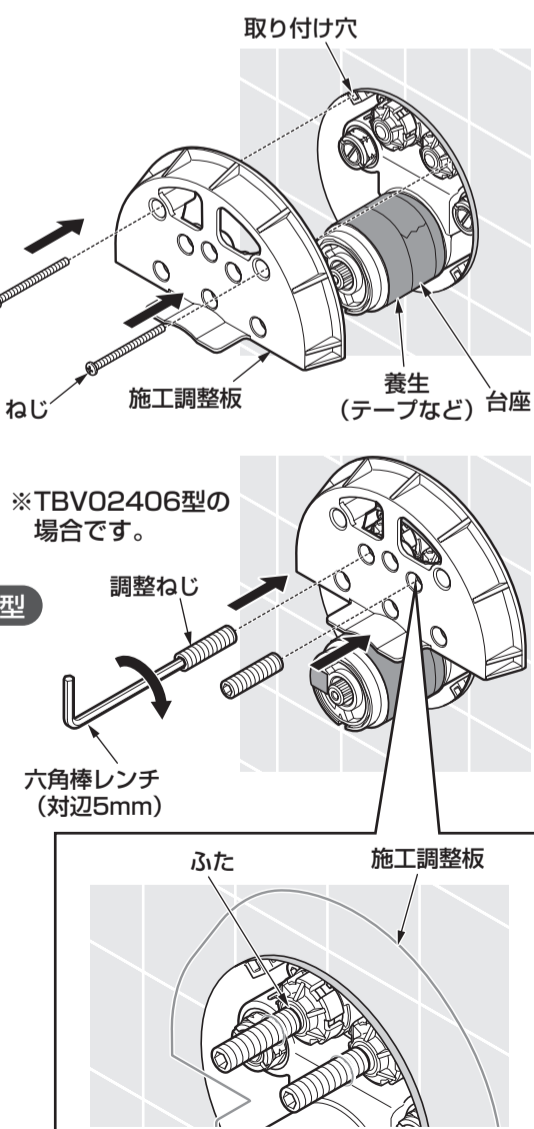
6-2

2-1 ボタン部の取り付け

①防傷のため台座を養生(テープなど)する。

②施工調整板を埋込部の取り付け穴の2カ所にねじ固定する。

③調整ねじを施工調整板に六角レンチで組み付ける。
ふたに当たるまで調整ねじを締め付ける。



※TBV02406型の場合です。

TBV02406型 TBV02405型

TBV02105型

④調整ねじをカットする。

注意

カット時に調整ねじを回転させないようにしてください。

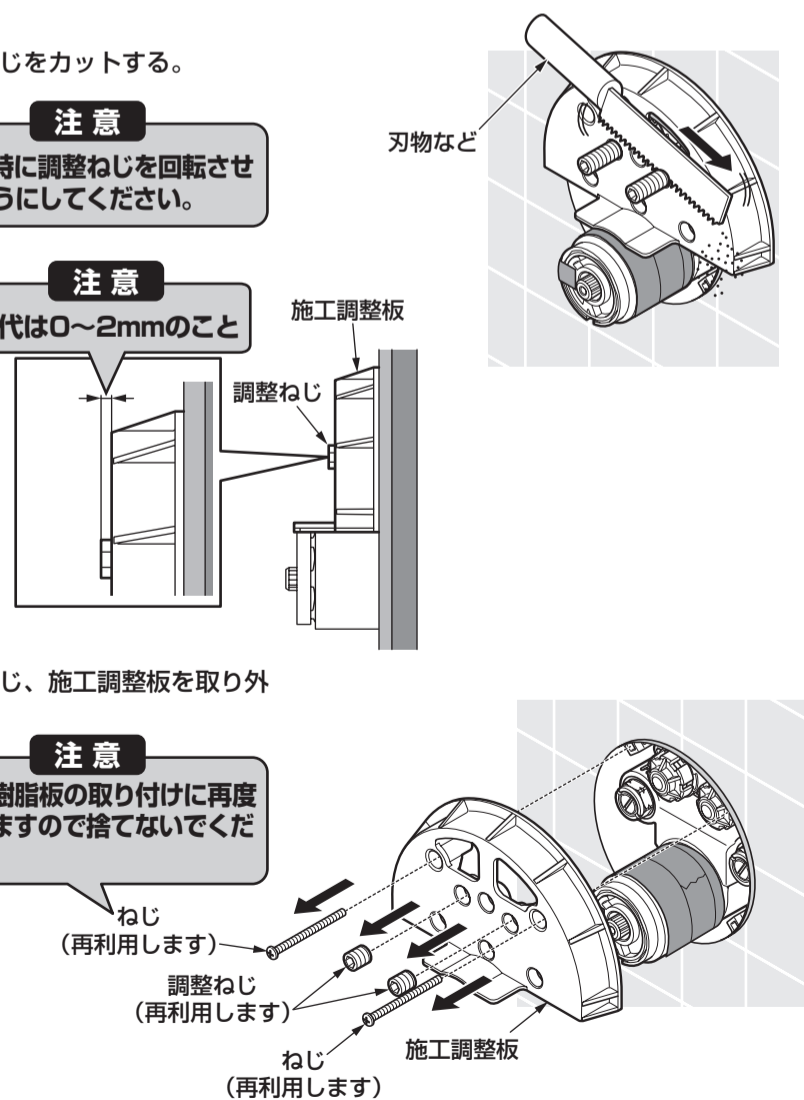
注意

出代は0~2mmのこと

⑤調整ねじ、施工調整板を取り外す。

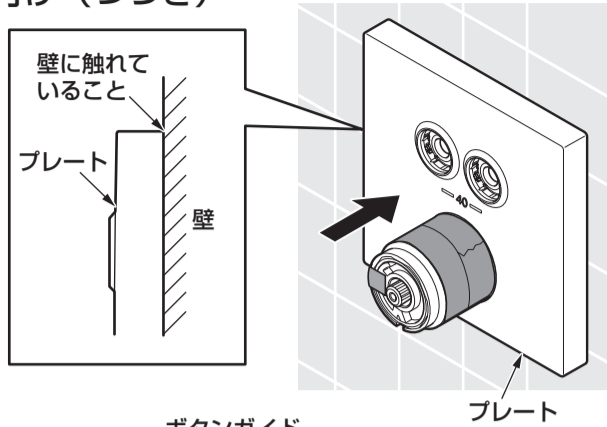
注意

ねじは樹脂板の取り付けに再度使用しますので捨てないでください。

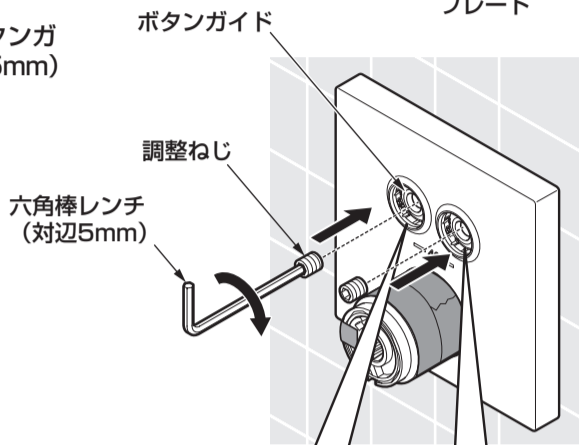


2-2 ボタン部の取り付け (つづき)

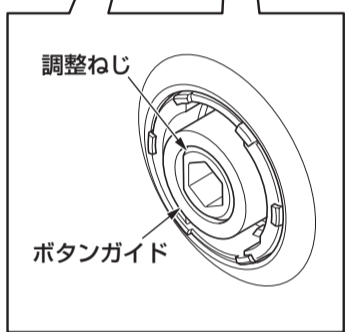
⑥ プレートを挿入する。
(壁まで当てる)



⑦ 調整ねじをプレートのボタンガイドに六角棒レンチ(対辺5mm)で締め込む。



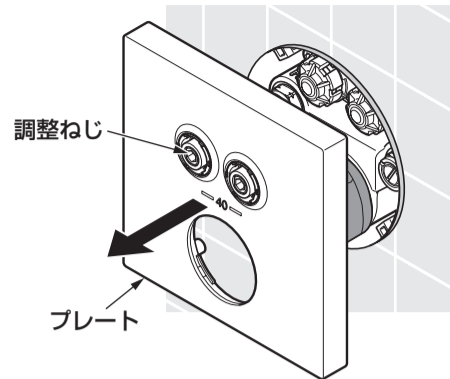
⑧ ボタンガイドと調整ねじの端面が同一になるまで締め込む。



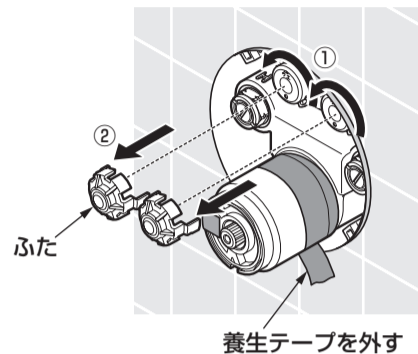
注意

調整ねじの切断長さ、締め込み時の位置合わせは十分注意してください。開閉ボタンの吐水・止水操作に影響がでます。

⑨ プレートを取り外す。
(調整ねじは付けたままにする)

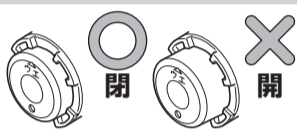


⑩ ふたを回転しながら手前に引き、取り外す。



注意

ふたを外したあと、閉の状態になっていることを確認してください。開閉ボタンの吐水・止水操作に影響がでます。



3 樹脂板の取り付け

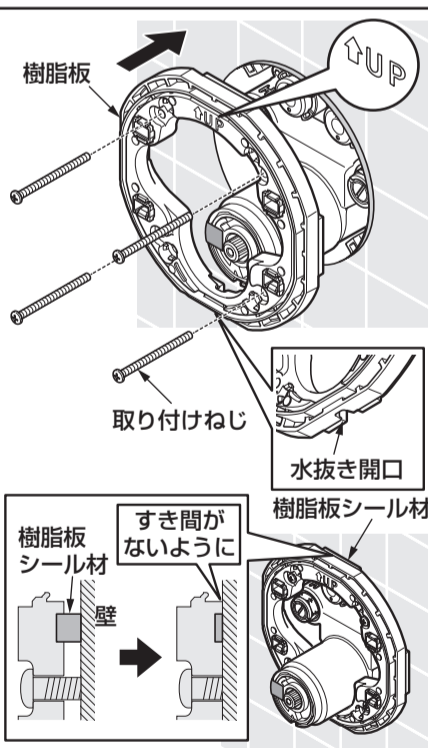
注意

樹脂板は、7-1の 1.水出し確認 2.フィルターの掃除 3.流量の調節を行ったあとに取り付けてください。

シール材のついた方を壁側にして樹脂板を取り付けねじで固定する。

注意

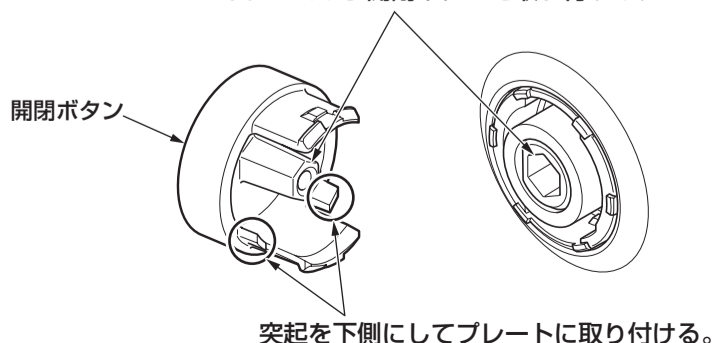
- 樹脂板を"UP"が上になるように取り付けてください。
- 取り付けねじは、樹脂板シール材がつぶれる(樹脂板と壁のすき間がなくなる)まで締め込んでください。
- ねじを強く締め過ぎると、樹脂板が変形しますので、注意してください。
- プラスドライバーで締め込んでください。電動工具は使用しないでください。



4-1 プレートの取り付け

開閉ボタンの取り付け

六角をあわせる。あっていない場合は、調整ねじ側を左右に回しあわせてから開閉ボタンを取り付ける。



外觀プレートに開閉ボタンを取り付ける。

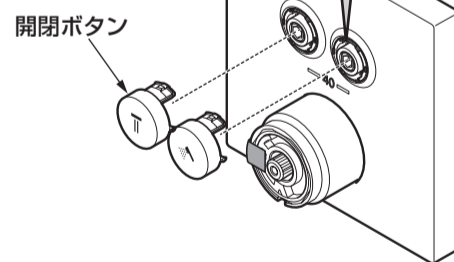
TBV02406型

TBV02105型

※バススパウト、シャワーなどの器具にあわせてボタンを選択する。

注意

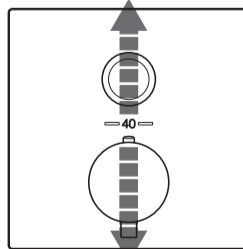
方向性注意のこと!



開閉ボタン位置と吐水出口の方向 ■■■■■ ※水の流れを表現したものです

TBV02405型

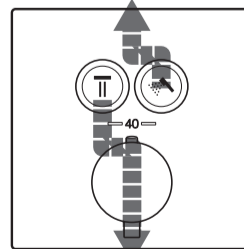
出口1



出口2

TBV02406型

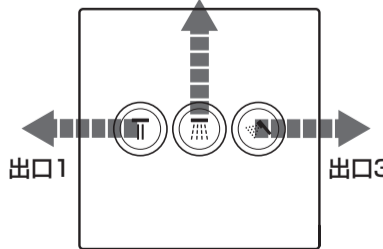
出口1



出口2

TBV02105型

出口2



TBV02405型

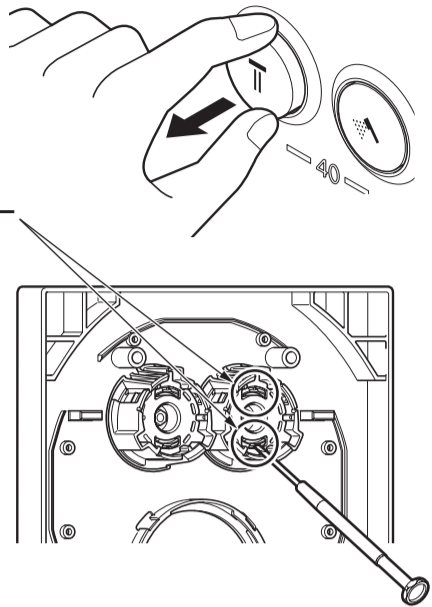
※出口1または2の接続器具側から吐水します。使用しない配管接続口は埋込部(別売品)に同梱のプラグを取り付けてください。

4-2 プレートの取り付け (つづき)

開閉ボタンの外しかた

ピクトを誤って取り付けた場合は以下の要領で取り外してください。

- ①開閉ボタンを手前に引き手で持つ。
- ②裏側から開閉ボタンのつめを精密ドライバーなど先の細いものを使用して押し外す。

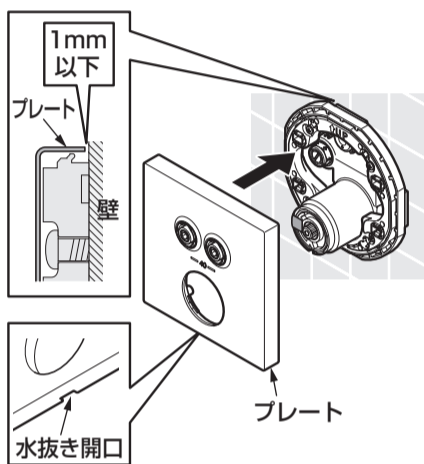


プレートの取り付け

水抜き開口が下側にあることを確認する。

注意

プレート周囲へのシリコンの塗布はしないでください。プレート内の排水ができなくなります。



5 ハンドルの取り付け

TBV02405型 TBV02406型

温度調節ハンドル

- ①リングの凸部がナットの溝から外れないようにテープをはがす。

注意

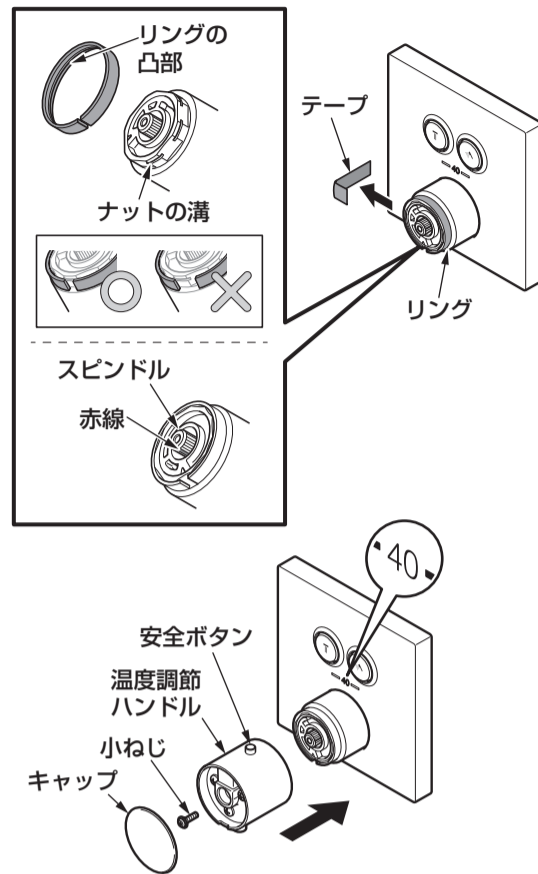
リングの凸部がナットの溝にきちんと入っていないとリング外周が広がり、ハンドルが入らない、リングの外周とこすれて重いなどの影響があります。

- ②スピンドルの赤線が下側になっていることを確認する。

- ③温度調節ハンドルの安全ボタンとプレートの目盛り"40"をあわせてはめ込む。

- ④小ねじで締め付ける。

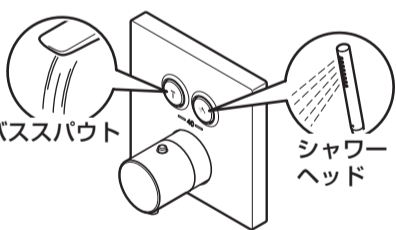
- ⑤キャップを取り付ける。



7-1 施工後の調節

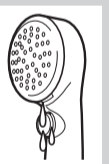
1. 水出し確認

シャワーヘッドやバススパウトなど、サーモスタット混合水栓以外の器具の取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、水が出るか確認してください。



注意

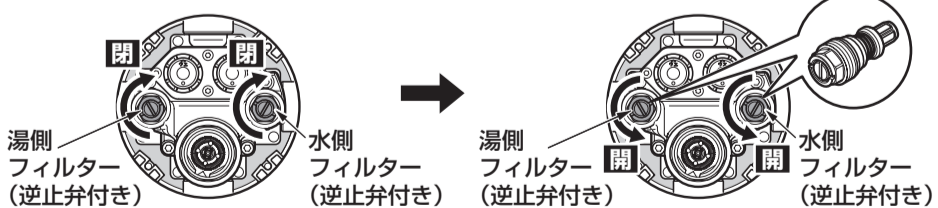
エアインシャワーの場合、シャワーを止めたあと、一般シャワーヘッドとは異なり、散水板の下部にある吸気口より水が排出されます。故障ではありません。



2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、元栓を確実に閉めてからフィルターを外してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



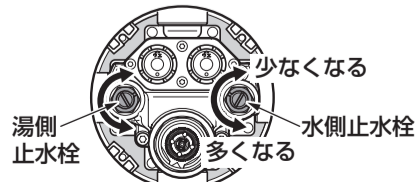
3. 流量の調節

流量が多すぎる場合などは、**止水栓**で流量を調節してください。

マイナスドライバーを差し込み、止水栓を回す。

時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

調節後、**6-4**—**3 4 5**「樹脂板の取り付け・プレートの取り付け・ハンドルの取り付け」を行ってください。



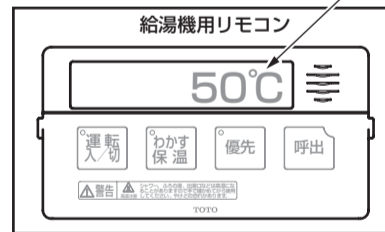
4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。快適な吐水温度を確保するために50~60℃設定をおすすめします。

給湯機の設定温度は高めに



2. 温度調節ハンドルの安全ボタンを目盛り"40"にあわせる。

3. **TBV02405型** 開閉ボタンを押す。

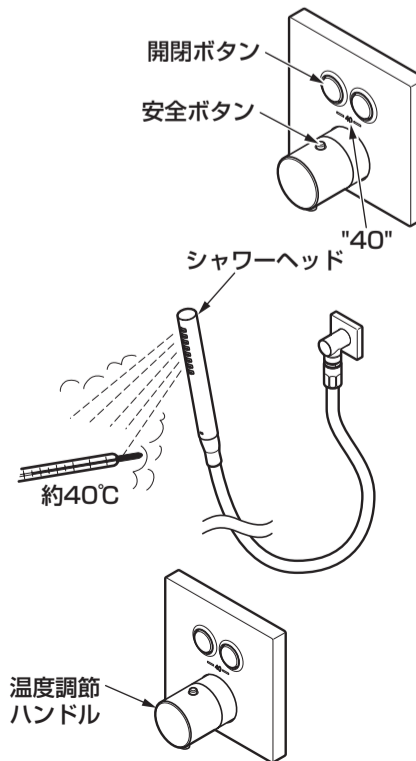
TBV02406型・TBV02105型

シャワーヘッドから水が出る開閉ボタンを押す。シャワーヘッドから水が出ます。

シャワーヘッドが設置されていない場合は、オーバーヘッドシャワーから水が出る開閉ボタンを押してください。

4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。やけど防止のため、給湯機の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。
TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承っております。(有料)

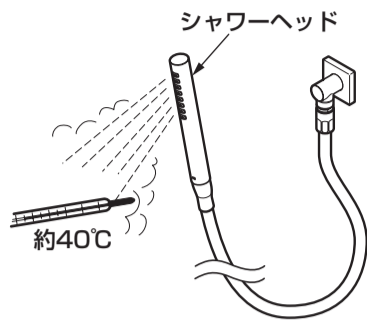
1. TBV02405型

開閉ボタンを押す。

TBV02406型・TBV02105型

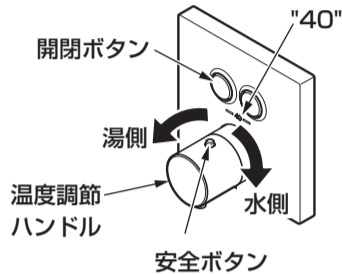
シャワーヘッドから水が出る開閉ボタンを押す。
シャワーヘッドから水が出ます。

シャワーヘッドが設置されていない場合は、オーバーヘッドシャワーから水が出る開閉ボタンを押してください。



2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40°C)の湯が出る位置まで回す。

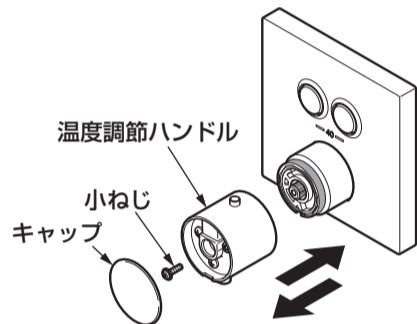
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップと小ねじを外して温度調節ハンドルを抜き取ってください。

ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。落下させるとけがをしたり、ハンドルが変形するおそれがあります。

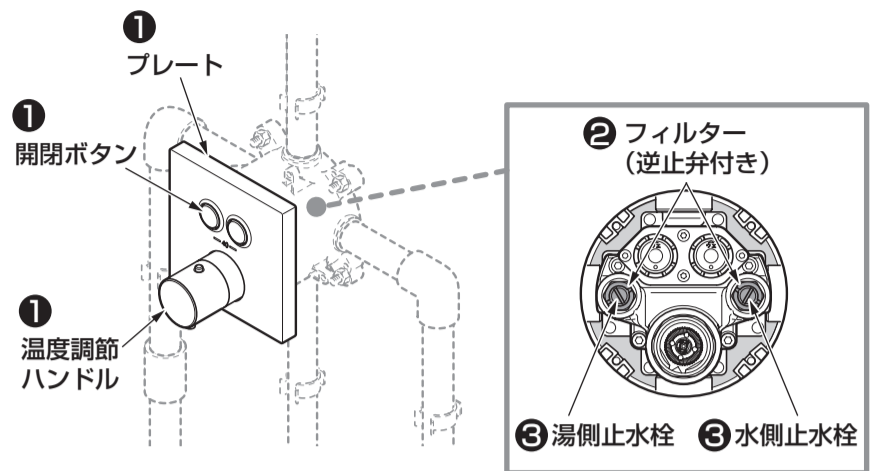


4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字と安全ボタンをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、止めねじで固定し、キャップをはめ込んでください。

5. 固定後に適温(約40°C)の湯が出ているか確認する。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

1 プレート・開閉ボタン・ハンドルのガタツキはないですか？

- 6-4 - 4 「プレートの取り付け」参照
- 6-5 - 5 「ハンドルの取り付け」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

2 フィルターのごみ詰まりはないですか？

- 7-1 - 2. フィルターの掃除参照

3 止水栓は開いていますか？

- 7-1 - 3. 流量の調節参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。